

昨年に続き『八王子車人形』西川古柳さん来訪！！



桑都で育まれた伝統芸能
八王子車人形
国指定重要無形民俗文化財

「日高川入相花王 通行より渡し場の段」 出演 八王子車人形西川古柳座及び説経節の会
第17回八王子車人形と民俗芸能の公演 令和元年(2019年)11月10日 於 八王子市民会館

車人形は、ろくろ車(箱車)に乗った人形遣いが一人で一体の人形を遣う人形芝居です。文政8年(1825年)に現在の埼玉県飯能市に生まれた山岸柳吉(初代西川古柳)によって幕末に考案され、多摩地方を中心に関東一円に広まりました。明治時代に八王子に伝えられて以来、八王子車人形西川古柳座によって継承され、養蚕や織物で発展した八王子で親しまれてきました。八王子車人形は伝統的な説経浄瑠璃や義太夫節の語りとともに演じられるほか、様々なアーティストとの共演もさかんです。昭和51年(1976年)のモスクワ公演以来、海外でも古典から新作に至る演目を公演しています。

このろくろ車に乗って人形を遣うよ！

八王子車人形文化財指定の変遷
昭和37年(1962年)市指定無形文化財
昭和37年(1962年)東京都指定無形文化財(芸能)
昭和37年(1962年)国指定無形文化財(芸能)
平成8年(1996年)国記録選択無形民俗文化財
令和2年(2020年)日本遺産認定ストーリー
「雲気満山 高尾山 人々の祈りが紡ぐ桑都物語〜」
国指定重要無形民俗文化財

五代目西川古柳による三番叢

